

ボランティア活動の心得 ＊初めて参加する方へ

○ボランティア活動に参加する前に

- ・被災地での活動には、ボランティアとしての自覚や意識が必要です。遊び半分や旅行気分での安易な参加は、被災地を含め周りの迷惑となりますのでご遠慮ください。
- ・あくまでもボランティアは自己責任・自己完結で行われます。出かける前の準備（体調管理、ボランティア保険への加入、持ち物の準備など）をしっかりと行い、万全の態勢でご参加下さい。

○カリタス広島災害サポートセンター（以下、サポセン）について

- ・カリタス広島災害サポートセンターは、「広島教区」がカトリック信徒や教会だけでなく、被災した社会全体に対して幅広く支援活動を実施するために設置しています。
- ・活動期間中はサポセンの一員であることを意識して行動してください。

○ボランティア活動について

- ・ボランティア活動では、「助ける」「何かをしてあげる」ということ以上に「共に寄り添う」という精神を大切にしてください。「してやる」活動ではありません。善意の押し付けは、相手にとって迷惑となります。
- ・ルールを守る、あいさつや言葉遣い、活動中は携帯電話を使用しないなど、基本的なことを大切に、被災地や周りの人に迷惑をかけないように活動してください。
- ・被災者の立場に立った活動を心掛けて、何のための活動なのか、まわりの人の立場や気持ちを考えながら、行動してください。
- ・依頼された仕事は、無理のない範囲内でなんでもやりましょう。肉体的にハードな仕事でなければ被災者の役に立てないということは決してありません。どんな活動でも被災者の方に必要とされている大切な活動であることを忘れないで下さい。
- ・自分の安全と健康を第一に考えて行動して下さい。自分が助けられる立場にならないよう、一人では行動しない、問題を一人で抱え込まない、精神的にも肉体的にも無理をしない、頑張りすぎない等のことに注意してください。自分には無理な仕事だと思ったら断ることも大切です。
- ・活動中に写真を撮る場合は、被災者の方に十分配慮をして、必ずスタッフや現場責任者の許可を得てください。

○宿泊される方について

- ・ボランティア活動並びにベースでの生活に関しては、ベース長やスタッフの指示に従って行動してください。
- ・また、分からないことや困ったことがある場合は、自分一人に対処しようとせず、スタッフや現場責任者に相談してください。
- ・ベースはボランティア活動の拠点です。単なる宿泊場所ではありませんので、その点をご理解ください。
- ・ベース内外での行動が、スタッフや他のボランティア、地元住民などの迷惑やトラブルの原因になる場合は、お引き取りいただくことがあります。

○お願い

- ・もう一度ボランティアに参加して下さる場合は、必ず初回と同様にサポセンに申し込みフォームを提出する形でお申し込み下さい。調整・受付処理等を行い、必ず返答いたします。※返答がない場合は、サポセンへお問い合わせ下さい。
- ・資料は、確認の意味も込めて、毎回必ずご一読ください。
- ・ベースへ直接申し込みの連絡をしたり、お申し込みをせずに直接行くことは、活動の妨げとなりますので、ご遠慮ください。